

インド国 ロールプランターを使用した南インドの乾燥地での 農産物の生産拡大に向けた案件化調査

企業・サイト概要

- 提案企業 : ミツカワ株式会社
- 提案企業所在地 : 福井県武生市
- サイト・C/P機関 : タミルナドゥ州コーヤンブトーウ (Coimbatore) ・
タミルナドゥ州農業省農業技術局



インド国の開発課題

- 近年の降雨量の減少による土地劣化、乾燥化
- 農産物の減量による農民の貧困化
- 農家の低い生産性

中小企業の技術・製品

- PLAロールプランターは、生分解性繊維 (PLA) を筒状に編んだ農業資材。
- 一定の水源が確保されるならば、荒廃地であっても、農産物の収穫が可能。
- 使用後は、最終的に水と二酸化炭素に分解されるため、廃棄物として残留しない。

調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

- 調査を通じて中小企業海外展開支援事業～普及・実証事業～を提案する。
- 土地劣化により作物が育ちにくい土地1haあたり、トウモロコシの場合 33,000本、ホウレンソウのような葉物の場合250,000株、キャベツの場合 33,000株の栽培が可能になると想定される。

日本の中小企業のビジネス展開

- ネタフィム・インド社やインドの販売代理店と契約し、日本からのPLAプランターの輸出によってインド市場を開拓する。
- 安定的な拡大が見込めた時点で、パートナー企業による委託生産を検討する。